



(学校教育目標) 心豊かに、たくましく、生きる力を育てる

目指す学校の姿

- (児童生徒) 「夢や希望をもって友達とともに学び、自信をもって挑戦できる」学校
- (保護者) 「安心して子どもを託し、協力し、信頼できる」学校
- (教職員) 「自信をもって教育活動に専念し、相互に指導力を高め合い、協働体制により働きがいのある」学校
- (地域の人々) 「相互に理解を深め、地域が必要とする」学校

目指す児童生徒の姿

- 自ら考えて行動する児童生徒
- 豊かな心で仲間とともに活動する児童生徒
- たくましい体で活動する児童生徒

目指す教職員の姿

- 児童生徒、保護者から信頼される教職員
- 児童生徒を主語にした教育環境の充実を常に考える教職員
- 社会の変化に対応した教育を考え、実践できる教職員
- 自己研鑽に励み、指導力や実践力を高め合える教職員
- コミュニケーション力や協調性・表現力に優れる教職員

何ができるようになるか？

(学校の基本)

- 学んだことを社会生活に活かせる力を育てる。
- 自分の思いを伝えられる力を育てる。
- 自分から取り組める力を育てる。

令和7年度 重点教育目標

児童生徒一人一人の障がいの状態や発達段階及び個々のニーズに応じた授業力及び実践力の向上に努める。

何が身に付いたか？(学習評価)

- 個別の教育支援計画
- 個別の移行支援計画
- (通知表) 個別の指導計画
- (寄宿舎) 個別の指導計画
- 学習評価
- 学びの履歴
- 学校評価
- 前期評価・年度末評価
- 教育課程の評価
- PTA、学校運営協議会(CS)

何を学ぶか？ (教育課程の編成)

- 国語、算数・数学、生活、理科、社会、音楽、図画工作・美術、体育・保健体育、家庭、職業・家庭、外国語、職業、外国語活動・外国語、情報、専門教科
- 総合的な学習(探究)の時間
- 特別活動
- 自立活動、
- 特別の教科道徳

どのように学ぶか？(教育課程の実施)

- 教科別の指導
- 各教科等を合わせた指導
- 社会生活に活かすための基礎・基本の習得
- 主体的・対話的で深い学び
- 現場実習
- 交流及び共同学習
- 地域貢献活動
- 寄宿舎生活(舎生)
- 各教科の関連性をもたせた教科横断的な視点の指導計画
- キャリア発達を意識し、12年間(6・3・3)を見通した系統性のある指導計画

共創

実施のために必要なこと

- 確認・連絡・報告の推進
- 多様性に対応する柔軟な発想
- 外部評価を取り入れた教育課程の編成
- 個業ではなく、組織業(チーム東川)～ONE TEAMからOUR TEAMへ～

- 適切な実態把握(発達の理解)
- 教科→教科横断的な指導→各教科等を合わせた指導
- 対話と傾聴
- 伴走型支援で教職員をバックアップする管理職

令和7年度 重点実践事項

1 安全・安心な学校

- ・人権尊重
- ・健康な体づくり
- ・予防的な対応

2 教育課程の編成・実施

- ・合わせた指導の根拠、
- ・学部間接続
- ・自立活動の改善・充実

3 地域との連携

- ・地域資源(ヒト、モノ)の活用
- ・地域貢献活動の充実

4 ICTの効果的な活用

- ・障がい特性を支えるICT活用の充実

5 働き方改革の推進

- ・効果的で質の高い教育活動に向けて
- ・健康で豊かな生活

6 情報発信の充実

- ・分かりやすくタイムリーな発信